



奈良町にぎわい通信

二〇一九・小暑〜大暑

発行
奈良町
にぎわいの家



蔵展示「七夕書道展」 中村円



先生と楽しくお話！



工藤愛子社中(武者小路千家)
による四季の茶会



奈良県華道会による
「にぎわいの花さかそう」

花を愛で、お茶を味わい、地元の歴史に触れる...



「タイムトラベル奈良町」は「古絵図をみる」
芝新屋町の絵図から江戸時代の暮らしが伝わってきます。



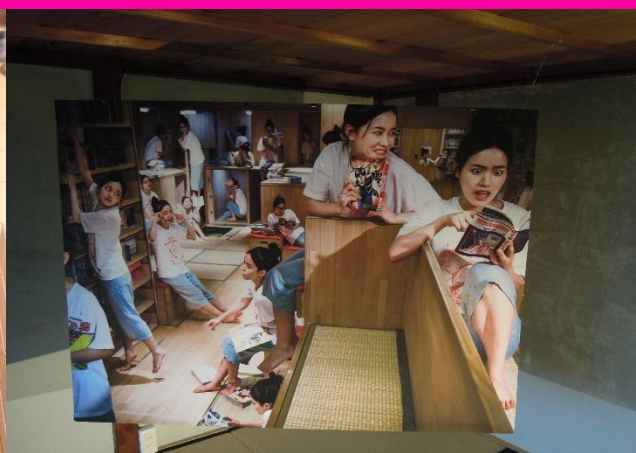
奈良町にぎわいの家 6月のイベントから



ロシアの少女たちの
かまど体験！美味しく
できたかな？



みんなで梅仕事。
この季節、人気の
イベント。



天井の低いつし二階に上がると...
え？！「この意外性が面白い」という感想が。



森川杜園企画vol.5
詳細は次ページ。



つし二階アート企画vol.18
高倉大輔「monodramtic」

奈良町 施設巡りトーク～Vol.12～旧鍋屋交番きたまち案内所

文
事務局長
瀬渡比呂志さん



●施設紹介

奈良女子大学記念館とともに重要文化財となっている奈良女子大学正門の斜め南前にある「旧鍋屋交番きたまち案内所」。1906年に現在地の少し南側の鍋屋町に鍋屋巡査派出所として設置された。1928年に現在地に移転・新築された「鍋屋の交番」は、建物の姿が女子大の記念館に似ていることもあり地域の人々に親しまれていたが2004年、その機能を終え、閉鎖された。取り壊される予定となった「鍋屋の交番」を惜しむ声が、女子大の教員や自治会長を始めとした地域の住民、建物の保存を望む市民らから上がり「鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会」(愛称:なべかつ)が作られ、奈良市において改修された。なべかつが運営・管理し、地域の案内や活動の拠点などとして活用している。

●きたまちのよさを伝えたい

平城京以来1300年の歴史がモザイクのように折り重なり、しっとりとした良さを持った奈良きたまち。この良さを多くの方々に知って頂き、その良さが生き続けるきたまちにしていきたい。案内所では、「駐在さん」と呼ぶボランティアの方々が輪番で常駐しており、小ぶりの建物の和室はいろいろな展示に活用している。会員と駐在さんを合わせて総勢約100名のなべかつでは、案内所の運営とあわせてきたまちの良さを知っていただく活動を種々行っている。恒例化した取り組みは次の通り。関係する他の団体の方々と協働して行っている。これからも新たな取り組みをいろいろ考えていきたい。

春…奈良八重桜(ならのやえざくら)巡り

千年前に「いにしへの、ならのみやこの八重桜・・・」と歌に詠まれた奈良八重桜。きたまちに多く植えられていることから桜の説明と合わせた見学会を開催。

秋…正倉院探訪

国立博物館で開催される正倉院展にあわせて正倉院についての講演と見学会を開催。

秋…きたまちスケッチ大会

きたまちの良さをスケッチをする方の目で描く大会を開催。

冬…竹送りお迎え式…京田辺から送られてくるお水取りのお松明用の竹のお迎え式を開催。

春…きたまち大学校…奈良女子大学の大教室をお借りし、きたまちに因んだ講演会を開催。

●開館時間

10:00～16:00

●休館日…水曜日

●連絡先 〒630-8284

奈良市半田横町37番地の2

TEL 0742-23-1928

森川杜園企画第五弾「狂言師・森川杜園」開催！

当館の二軒隣(現「刀剣ショップ杜園」)に住まいした、奈良人形師、絵師、狂言師として、三つの職を極めた名人、森川杜園の企画を毎年続けています。今年は狂言師としての杜園の世界を、講演と朗読劇と狂言から、知ろうという企画。毎年の企画の核となるテキストが、大津昌昭先生の著作『芸三職森川杜園』。幕末から明治にかけて奈良町で活躍した杜園の息づかいが伝わる優れた小説です。当日は満員御礼。「杜園を初めて知ったが、劇もわかりやすく楽しめた。」「こんな間近で狂言を見られて嬉しい。声がすごい。」「奈良町らしい企画、来年も必ず来ます。」などの感想が。また、当日は杜園作品(協力…藤野幸三)も並び、イベント終了後、皆さん、熱心に鑑賞されていました。来年は杜園生誕、200年！奈良町の元祖マルチなアーティスト、森川杜園、今後も本企画にご期待下さい！

お話、朗読劇、狂言から杜園を。



大津昌昭先生

奈良町町家劇場
一人一人が杜園になっての語り。

浦久保昌宣氏(左)
伊川健一氏
による
「寝音曲」に
笑いが。

奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～小暑～

サリサリサリかき氷旨し
すこやかに
汗して励む
大暑の今日も



サリサリサリと音をたてて
いただく、かき氷もおいしい季節。
汗をかいて励みましょう、
大暑の今日も。

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2019
大暑

暑さと言葉

事務局長 藤野正文

梅雨が明けるはずの7月ですが二十四節気では「小暑」から「大暑」(七月二十三日)に、そして「立秋」を迎えます。

昨年は、大阪府北部での地震につづき西日本を中心とした記録的豪雨がありました。この夏はまだ台風もなく、災害のないように祈らざるを得ません。また、本格的な夏の到来ですが、昨年のような酷暑が今年は和らぐとも。

暑さを表す言葉もいろいろありますね。
蒸し暑いことを「蒸暑」(じょうしよ)・「溽暑」(じよくしよ)、日差しがあつて暑いことを「熱暑」(ねつしよ)、夏の暑いさを「盛暑」(せいしよ)、はなはだ暑いことを「甚暑」(じんしよ)・「激しい暑さを「猛暑」(もうしよ)・「酷暑」(げきしよ)、真夏の焼けつくような暑さを「炎暑」(えんしよ)、厳しい暑さを「厳暑」(げんしよ)、ひどく暑いことを「酷暑」(こくしよ)、極めて暑いことを「極暑」(ごくしよ)など、様々な暑さを表す日本語があるものですが、なかなか使い分けできそうにもありません。

今年の夏も暑そうですが、「この暑さを何と言うの」とか、暑さを楽しむころを持ちたいですね。

6月～二つの蔵展示から

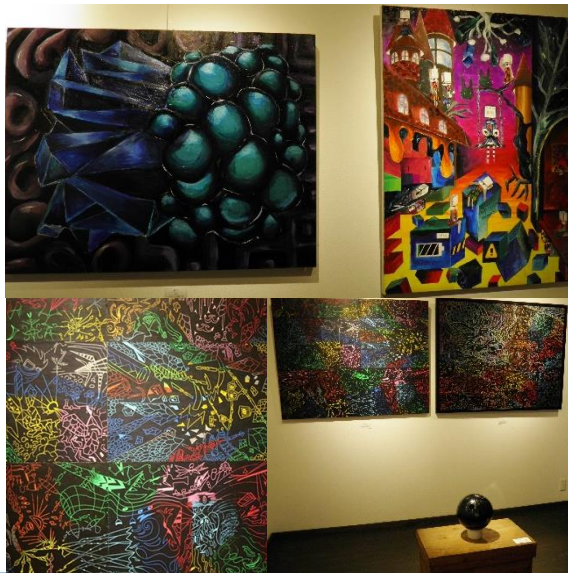
四季のうた～西田スエ子 作

5年前の開館当初から、「お客様にさしあげて下さい。」と折り紙作品を定期的に持ってきて下さる西田さん。海外のお客様には特に好評で、喜んで持って帰っておられます。この度、ちりめん細工を始め、沢山の作品をお持ち下さったので、一堂に見られる機会としました。日本の四季の良さが伝わる、ほのぼのした展示空間にほっこり。



伏見中学校美術部作品展

中学生ならではの感性で挑んだ、意欲的な作品が並びました。スクラッチ(引っ搔いて作った作品)や油絵など、技法も様々。感想ノートには海外のお客様からも賞賛の声が。「ピッツバークから来ました。教師をしているので、こうした生徒さんの作品に会えて嬉しい。帰ったら、生徒に伝えます。」など嬉しいメッセージが！



大きな作品が蔵の壁面を飾りました。古い階段に妙にマッチした作品も。



奈良町にぎわい通信vol.51

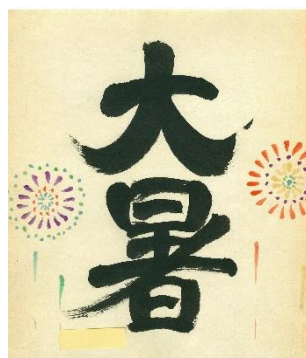
制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書・逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



小暑

7/7~22



大暑

7/23~8/7

七夕の銀河を挽ける鋸のひびきとなりぬ
山ほととぎす
前登志夫